

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	057 地域再生計画・構造改革特区に係る総合調整及びその他庁内調整業務									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	-					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市職員
目的	政策立案及び事業企画に係る国や県等からの情報を収集した上で、庁内に共有するとともに部局横断的な案件の調整を図る。
概要 (取組内容)	国や県等から市町村企画担当課宛てに展開される情報を収集し、庁内に周知する。 部局横断的な施策や事業の実施意向を尋ねられた場合に、担当部署を特定した上で調整を図る。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	167	161	601	269	269	
	決算額	(千円)	93	73	93	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	93	73	93	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,337	3,103	5,754	7,489	6,798	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.40	0.70	1.00	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	120.00	140.00	280.00	240.00	240.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		－
成果		国等からの補助金・交付金の募集通知を庁内に周知することで、広く活用機会を設けることができた。主に新しい地方経済・生活環境創生交付金の申請により必要な財源を確保した。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用意向を庁内に照会し、幅広い事業への活用につながった。
課題	業務	令和６年度に地域経済循環創造事業交付金の申請を目指す事業を選定するための審査会を設置したが、実施方法等について再考する必要がある。
	組織、予算等	－
改善目標		地域経済循環創造事業交付金の審査会について、令和６年度の課題を踏まえ再設計し、実施する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	060 市長公約事業のロードマップ事業									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	-					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民
目的	公約事業の着実な実施を図る。
概要 (取組内容)	市長が選挙時に掲げた公約における事業（2期目：6本の柱・135事業、3期目：6本の柱・99事業）について、実施時期と工程等を各個票に落とし込んだロードマップを作成した上で、進捗管理や評価を実施し公表する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,354	4,036	5,953	1,455	3,054
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.50	0.70	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	240.00	240.00	360.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		2期目の最終評価について、明確な基準を設定することで、より客観的な評価とすることができた。
成果		2期目の市長公約事業の最終的な進み具合を評価し、令和6年9月に公表することで、市政の透明性を担保できた。 また、令和6年12月に3期目の新たなロードマップを作成し、今後4年間の事業の見通しを公表した。
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	061 住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合「幸せリーグ」									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合規約					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	幸せリーグ参加自治体									
目的	住民の幸福実感向上に向けた基礎自治体間の相互の連携・協力、自治体職員の学びの場を設けることにより、基礎自治体が互いに切磋琢磨し、行政運営の一層のレベルアップを図る。									
概要 (取組内容)	幸福度の研究、住民の幸福実感向上に向けた施策等について情報交換及び意見交換を行うとともに、全国にその内容を発信し、基礎自治体における幸福度の取組を広める。 調査研究、意見交換、交流等を通じて、参加基礎自治体の職員の育成を図る。 実務者会議に参加し、テーマごとにグループに分かれ、年に数回集まって政策に関する議論を行う。									

コストの推移

項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額		(千円)	18	17	14	16	16
	決算額		(千円)	5	8	3	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	5	8	3	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計		(千円)	730	740	773	740	740
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度から中止となっていた実務者会議におけるグループ議論が再開され、オンラインでの実施ではあったが、各自治体の取組等について議論することができた。
成果		実務者会議におけるグループ議論として地方創生に関する各自治体の取組の共有や意見交換を行い、政策形成に当たって参考となる情報を得ることができた。
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	062 首都圏業務核都市首長会議事務									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	多極分散型国土形成促進法、首都圏業務核都市首長会議規約					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	業務核都市に位置づけられた21市									
目的	業務核都市に位置づけられた市の意見交換や連絡調整を行うとともに、共同で国への要望等を行う。									
概要 (取組内容)	多極分散型国土形成促進法に基づき、首都圏業務核都市として位置づけられた21市の首長が年1回会議を開催し、業務核都市の育成整備等について意見交換を行う。 幹事会議（担当部局長等が出席）を年3回開催し、国の動向等の情報を収集するとともに、国に対して要望活動を実施する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	31	39	20	20	20	
	決算額	(千円)	7	4	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	4	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	730	740	773	740	740	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		－
成果		令和6年度は茨城県域が幹事となり当市を会場として幹事会を開催した。他の首都圏業務核都市との連携体制を構築するための一助となったとともに、国土交通行政の動向等、本市の施策等の推進に資する情報を得られた。また、書面での首長会議を経て、国土交通省に業務核都市の育成整備等に関する要望事項を提出することができた。
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	063 国・県に対する予算等要望									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	-					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	国及び県
目的	市政の推進に必要となる政策や予算に関して国及び県に要望する。
概要 (取組内容)	関係部署から要望内容を取りまとめ、要望先へ要望書又は要望事項を提出する。茨城県予算編成等要望については、つくば市固有の課題を中心に要望書をまとめ、知事に手渡しする。県政要望及び全国市長会関東支部総会提出案件については、広域的な課題を中心に要望事項をまとめる。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	19	14	14	15	15
	決算額	(千円)	9	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	9	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,239	2,266	2,367	2,266	2,266
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年度の要望事項における進捗状況を確認し、継続して要望することの可否を検討した上で要望事項を精査した。
成果		予防接種等に関する財政措置、県立高等学校への進学環境の充実、スクールカウンセラー等の人員拡充など、当市が推進する事業に関連した要望を実施した。 成果として、バス事業者へのバス運転者の人材確保のための支援について進展があった。
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	064 友好都市交流事業									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	友好都市提携協定（荒川区、郡山市）					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	友好都市提携協定を締結した自治体、市民									
目的	地域間交流を促進し、広範な分野での都市間交流を図る。									
概要 (取組内容)	友好都市提携協定を締結した2都市と都市間交流を行う。 荒川区（平成20年(2008年)5月28日 協定締結） 郡山市（平成26年(2014年)10月31日 協定締結）									

コストの推移

項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額		(千円)	76	72	86	49	49
	決算額		(千円)	17	4	20	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	17	4	20	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
		人件費計		(千円)	730	740	1,545	1,431
人件費	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	20.00	40.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-									
企画・立案、計画	-									
実行	-									
評価、検証	-									

指標の推移

1	指標名	友好都市との交流回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	5.0	3.0	4.0	5.0	3.0	5.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		-
成果		荒川区のイベントに本市が、まつりつくばに荒川区、郡山市の両市が出展し、相互に特産物や観光スポット等をPRすることができた。 郡山市とは友好都市10周年となる記念事業を両市の小学生を対象に本市において実施し、相互に友好都市への理解を深めることができた。
課題	業務	-
	組織、予算等	-
改善目標		-

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	065 地方版図柄入りナンバープレート事業									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	-					事業期間	毎年度			
根拠法令等	地方版図柄入りナンバープレート導入要綱					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民、事業者									
目的	走る広告塔としてつくばナンバー地域の魅力を発信するため、図柄入りナンバープレート交付推進のためのPR活動を行う。									
概要 (取組内容)	つくばナンバー交付対象の13自治体で構成する「つくば地域図柄入りナンバー推進協議会」が、地方版図柄入りナンバープレートの普及促進事業を地域一体となって実施する。 地方版図柄入りナンバープレートの交付により得た寄附金の活用事業を実施する。									

コストの推移

項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額		(千円)	50	50	0	0	0
	決算額		(千円)	0	5	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	5	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計		(千円)	1,460	1,479	2,268	2,169	1,479
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.30	0.30	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	図柄入りつくばナンバー申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,000.0	7,500.0	10,000.0	13,000.0	21,000.0	24,420.0
	実績	5,783.0	8,251.0	11,892.0	16,903.0	22,449.0	28,275.0
	指標の概要	関東運輸局調べ					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		令和6年度に協議会として寄付金額が目標に達したため、各自治体の意向を踏まえ、各自治体単位で寄付金活用事業を実施する方針となった。
成果		継続した普及促進活動によって、申請件数が全国でも上位を維持していることから、今もなお関心が寄せられていることが推察でき、地域の魅力発信につながっていると考えられる。
課題	業務	令和6年度に当市における寄付金活用事業を検討したが実施に至らなかったため、令和7年度の実施に向けて実施事業者と調整する必要がある。
	組織、予算等	-
改善目標		-

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	066 ユニバーサルデザイン推進事業									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約	52					係名	企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市ユニバーサルデザイン基本方針					事業期間	毎年度			
根拠法令等	バリアフリー法、ユニバーサル社会実現推進法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民、市、事業者、市民団体、NP0など									
目的	誰もが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現に取り組む。									
概要 (取組内容)	つくば市バリアフリーマスタープランに基づき、各部署のバリアフリー化に向けた各施策を推進する。 つくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づいたまちづくりを全庁的に推進する。 ・職員研修（人事課） ・イベントユニバーサルデザインチェックシステムの維持管理									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	7,509	10,298	388	388	388	
	決算額	(千円)	6,358	6,761	189	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,223	3,938	189	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,135	2,823	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,061	4,435	3,190	4,435	4,435	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.60	0.40	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	つくば市バリアフリーマスタープラン推進協議会

指標の推移

1	指標名	ユニバーサルデザイン職員研修参加数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	75.0	0.0	138.0	79.0	96.0	79.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		バリアフリーマスタープランにおける市の関連施策の進捗確認や、各主体におけるバリアフリー化に向けた取組を共有していくため、新たな会議体としてバリアフリーマスタープラン推進協議会を設置した。
成果		令和7年3月に多様な関係者により構成されたバリアフリーマスタープラン推進協議会を開催し、マスタープランに設定した市の関連施策の進捗確認や、各主体におけるバリアフリー化に向けた取組を共有し、市全体におけるバリアフリー化の推進に寄与した。
課題	業務	協議会で出た意見を各関連施策に反映させていく必要がある。
	組織、予算等	各関連施策を推進していくにあたり、必要な場合には予算の確保について検討する必要がある。
改善目標		-

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	072 市民意識調査										
予算科目	01-020108-21 統計・データ利活用の推進に要する経					担当部課	政策イノベーション部企画経営課				
市長公約							係名	統計係			
戦略プラン							新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	一部委託			
個別計画						事業期間	毎年度				
根拠法令等						SDGs	16平和と公正をすべての人に				

事業の概要

対象	市民									
目的	市の現状やまちづくりの取組に対する満足度及び市が進める主要な施策に対する市民の意見を把握するため、アンケート調査を実施する。									
概要 (取組内容)	無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に調査票を郵送し、回答は郵送又はWEBで回収する。 調査結果は全庁で共有し、各部署において、市民の意見を把握し今後の施策形成へ活用する。 また、市民向けに調査結果をホームページで公表する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,741	4,741	3,000	5,056	3,000	
	決算額	(千円)	1,977	3,156	2,182	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,977	3,156	2,182	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,399	1,395	1,483	1,419	1,419	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	5.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	結果の公表（HP、広報誌）

指標の推移

1	指標名	アンケート回収率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	49.4	0.0	58.4	50.7	48.2	47.8
	指標の概要	(回収数／発送数) × 100% 【対象者】 H27年度：18歳以上の市民2,400人、H29～R6年度：18歳以上の市民3,000人					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		継続・新規の設問内容を精査し、戦略プランに關係する設問に絞った簡易調査とすることで、回答者の負担を軽減した。
成果		令和6年8月に実施した(対象：無作為抽出による市民3,000人)簡易調査では47.8%と高い回収率を達成し、市の現状や課題、まちづくりの満足度等を把握し、今後の市政運営の参考とした。
課題	業務	調査内容を施策に活用するにあたり、庁内部署と連携することで、集計結果の見える化やAIを活用した解析の検討などより理解しやすい形での分析結果出力を検討する。
	組織、予算等	なし
改善目標		設問を厳選し、主要施策に対する市民の声を的確に把握するとともに、調査結果を施策に活用できるようデータ利活用の周知を徹底する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	073 行政経営懇談会										
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課				
市長公約							係名	行政経営係			
戦略プラン							新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画							事業期間	毎年度			
根拠法令等							SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
								17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民
目的	複雑多様化する行政環境の下で、有識者及び市民から広く意見を聴き、分権時代にふさわしい効率的で効果的な行政運営にいかす。
概要 (取組内容)	懇談会における、以下の協議事項についての提言を受け、市長に報告する。 (1)行財政改革に関すること。 (2)行政評価に関すること。 (3)その他、行政運営の推進に関し必要と認める事項に関すること。 ※開催は、毎年度協議事項の有無により判断する

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	563	571	588	588	588
	決算額	(千円)	271	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	271	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,385	2,072	1,445	1,625	1,625
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.30	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	270.00	0.00	0.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		平成29年度に策定した「つくば市市民参加推進に関する指針」を踏まえた市の取組を検証するため令和4年度まで毎年行政経営懇談会の協議事項として取り扱ってきたことから令和6年度以降における行政経営懇談会の在り方について検討した。
成果		※令和6年度は行政経営懇談会の開催を見送った※ なお、令和4年度に行政経営懇談会から受けた提言に関する取組成果は、「080市民参加推進に関する事業」に記載している。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		令和7年度以降の行政経営懇談会の在り方や会議で扱う協議事項等について検討を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	074 行政評価事業										
予算科目	01-020108-13		行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課		
市長公約									係名	行政経営係	
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	職員のみ
個別計画									事業期間	毎年度	
根拠法令等									SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	効果的、効率的で質の高い行政サービスの実施
概要 (取組内容)	「P・D・C・A」のマネジメントサイクルにより、事務事業の継続的な改善に取り組む。市の現状、課題等を客観的に把握し、事務事業の評価結果等を各施策や各事務事業の業務改善等に活用する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	45	48	34	34	34
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,969	2,962	3,687	5,720	5,720
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	82.00	320.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	評価結果公表（ホームページ）
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	改善が取り組まれた事務事業数（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	927.0	870.0	881.0	882.0	883.0	884.0
	指標の概要	事務事業の終了や統合等により、事務事業数は毎年度変わる。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		事業評価の在り方について、次期戦略プランとの整合性を図るため、事務事業マネジメントシートの活用方法や作業工数削減の具体策について、関連部署と協議を行い、改善案を検討した。
成果		評価の効率化を図るため、関連部署と情報交換を行い、予算編成プロセスで評価結果を活用するための連動案を検討した。また、評価入力時期を見直すことで、事務作業の負担を削減し、事業改善の効率化を図った。
課題	業務	部署によって事務事業単位の設定にばらつきが見られ、事業単位が大きすぎる場合には評価が曖昧になり、十分な改善に結びつかない一方で、事業単位が小さすぎる場合には分析や改善の余地が限られる状況にある。このため、評価制度を大きく改善する必要がある。
	組織、予算等	事務事業マネジメントシートの内容を予算編成や戦略プラン評価に反映するために、データ入力時期や入力項目に関して、庁内の合意形成や連携体制の整備が課題となっている。
改善目標		予算編成や戦略プラン評価と連動した新しい事務事業単位の設定基準を策定し、全部署に共有する。これにより、各部署が事業ごとの成果と課題の把握を強化することで、より効果的・効率的な行政運営を実現する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	075 パブリックコメント手続事務									
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	行政経営係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市パブリックコメント手続に関する要綱					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民、市職員									
目的	市民の市政への積極的な参画を促進し、市民に対する説明責任を果たす。									
概要 (取組内容)	市が計画、条例等の策定に当たり、計画案を事前に公表し、意見募集を行うことで、市民の市政への参加を促進し、市民に対する説明責任を果たす。これにより、政策形成過程の公平性と透明性の向上を図る。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,411	1,382	1,445	1,382	1,382
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて当該年度に実施する予定のパブリックコメント手続の案件公表
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	案件当たりの提出意見数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	26.2	30.0	75.6	7.6	28.8	29.3
	指標の概要	パブリックコメント手続を実施した案件1件あたりにおいて提出された意見数（小数点以下四捨五入）					

2	指標名	意見募集を行った案件の数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	13.0	17.0	5.0	10.0	9.0	15.0
	指標の概要						
3	指標名	パブリックコメント提出意見により修正した案件の数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.0	12.0	3.0	5.0	6.0	12.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		パブリックコメント手続を実施する部署に対し、手続事務の標準フローを事前を送付するとともに、相談対応を行うなど、円滑な事務執行を支援した。
成果		市HPやSNSを活用して意見募集情報を周知し、市民から寄せられた意見を計画、条例等に反映させた。
課題	業務	パブリックコメントの事務手続きがやや煩雑である。また、大量の意見が寄せられる等の対応により、負担が大きくなる事例が他団体で生じている。
	組織、予算等	特になし
改善目標		庁内のパブリックコメント報告フローを見直すなど、より迅速で効果的な政策形成を実現する。パブリックコメント制度のコストと効果について再検討し、時世に沿ったよりよい意見募集方法を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	077 職員提案制度									
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	行政経営係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	市職員
目的	市政の更なる発展と職員の意識改革及び士気の高揚を図る。
概要 (取組内容)	職員から、①事務事業提案、②身近な提案、③改善結果報告の提出を求める。これらについて、調査会議（課長級）にて調査及び審査を実施し、審査委員会（副市長・部長級）にて審査を実施し、表彰候補の選定を行い、市長に報告し表彰を決定する。※令和4年度以降は制度見直し検討のため休止

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	691	723	691	691
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	職員提案・改善報告件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	30.0	42.0	22.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	年間の提案総件数 ※令和4年度に「職員なんでも意見・提案」を実施し、令和4年度・5年度・6年度は休止中					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市が目指す組織づくりの方向性に合致するとともに、職員の声をより引き出せるような制度に向けた改善の検討を行った。
成果		特になし ※令和6年度も引き続き休止
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		令和7年度以降の改善後の制度について、令和4年度に実施した職員提案制度の代替手法の実施結果及び、継続して行われている提案の実施検討状況も踏まえ、調整する必要がある。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	081 未来構想等推進事業									
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	行政経営係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学する人を含む）、市職員									
目的	つくば市未来構想及び戦略プランの着実な推進により持続可能なまちづくりを進める。									
概要 (取組内容)	つくば市未来構想を運用して行くに当たり、毎年度の進捗管理を行う。 未来構想等推進本部、未来構想等推進会議、未来構想等幹事会、未来構想等専門部会の運営。 第2期つくば市戦略プラン（2020年～2024年）施策評価の実施。 ※令和5年度からの追加事項：次期戦略プラン策定に向けた検討の実施									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	533	13, 840	13, 627	375	375	
	決算額	(千円)	294	12, 464	12, 806	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	294	12, 464	12, 806	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5, 547	17, 813	17, 309	9, 258	9, 258	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 70	2. 30	2. 00	1. 20	1. 20
		正職員時間外勤務	(時間)	319. 00	795. 00	1, 150. 00	400. 00	400. 00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページにて取組状況を公表
企画・立案、計画	未来構想等推進会議、未来構想等審議会
実行	—
評価、検証	未来構想等推進会議

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		社会情勢の変化に柔軟に対応し、かつ進行管理等における職員の負担を軽減するため、個別計画との連携に重点を置き、取組の方向性や指標等の整合を図りながら次期計画を策定した。
成果		未来構想等推進体制のもと、第2期戦略プランの進行管理を実施し、未来構想等推進会議で進捗状況を報告した。また、令和5年度に立ち上げた未来構想審議会を中心に、市民参加型の意見交換会を3回実施することで、次期計画に反映させるべき具体的な課題や施策を抽出し、第3期戦略プラン（令和7年度～11年度）を策定した。
課題	業務	戦略プランと個別計画で、目標や進捗評価の基準が一致していないため、進行管理に難がある。その結果、計画全体の評価に必要な作業量が増加し、効率的な運用の妨げとなっている。
	組織、予算等	戦略プランの策定に際し、策定当初に、いつ何を行うかといった作業工程や調整方針が明確化されておらず、想定以上の事務量が発生した。
改善目標		戦略プランと個別計画との整合性を図るため、成果指標を統一するための基準案を策定し、関連部署に共有することで、効率的な戦略プランの進行を図る。また、次期戦略プラン策定にあたって必要な作業プロセスとコストを検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	082 統計管理及び統計情報提供事務									
予算科目	01-020501-11 統計調査員に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約							係名	統計係		
戦略プラン								新規・継続	継続	
								事業分類	自治事務（任意）	
								事業体制	職員のみ	
個別計画							事業期間	毎年度		
根拠法令等							SDGs	16平和と公正をすべての人に		

事業の概要

対象	全ての人									
目的	・法定受託事務である基幹統計調査に関する事務を円滑に実施する。 ・市勢に関する最新の状況を把握し、広く周知する。									
概要 (取組内容)	・基幹統計調査を円滑に実施するため、統計調査員の確保対策に関する事業（調査員候補者の公募、登録調査員への研修会の実施等）や電算システムの調達等、全体的な管理業務を行う。 ・人口等の市勢に関する統計資料を収集し取りまとめ、冊子「統計つくば」として公表する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,193	3,824	7,808	8,125	3,447	
	決算額	(千円)	4,177	3,757	7,090	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,513	2,587	4,181	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	664	1,170	2,909	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	691	696	4,535	4,154	4,203	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	4.00	2.00	80.00	4.00	24.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	統計つくばの配布部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	32.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	統計つくばの配布部数を指標としていたが、提供数が少ないため、H28年度から市ホームページを利用した電子媒体での提供を基本とした。R3からは印刷された冊子の頒布をとりやめた。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		なし
成果		・登録調査員の技能向上を図るため、集合型の研修会を開催するとともに、市独自の研修資料を作成し、新規登録者に配布した。これらにより、各登録調査員の統計調査への理解や見識を深めることができた。 ・「統計つくば」を作成し、市公式サイトへの掲載や図書館での掲示等を行うことで、市勢に関する統計資料の利用を希望する市民や庁内外の関係機関への情報提供を行うことができた。
課題	業務	長年にわたって調査員候補者の慢性的な不足が続いており、区会・自治会からの候補者の推薦や市職員の協力がなければ基幹統計調査の実施が困難な状況にある。
	組織、予算等	なし
改善目標		調査員候補者の不足は基幹統計調査の制度設計や報酬体系に由来する部分が大きく、調査員確保に向けて市独自で実施できることは調査員募集に関する広報活動程度であるが、今後も継続していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	086 国・県委任の基幹統計調査事務									
予算科目	01-020502- 基幹統計調査費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	統計係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	法定受託事務			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	統計法					SDGs	16平和と公正をすべての人に			

事業の概要

対象	全ての人
目的	法定受託事務である基幹統計調査に関する事務を実施する。
概要 (取組内容)	統計法施行令等の関係法令に基づき、主に以下の事務を実施する。 ・報告義務者（調査客体）の選定 ・茨城県知事に対する統計調査員の推薦 ・統計調査員に対する調査実施上の指導及び支援 ・調査客体から提出された調査票等の内容審査 ・統計調査員への報酬等の支払

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	3,497	9,172	16,219	102,496	8,063
	決算額	(千円)	3,572	8,657	13,106	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,572	8,657	13,106	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,302	8,359	13,979	14,166	11,957
	内 訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	1.70	1.70
		正職員時間外勤務	(時間)	53.00	29.00	682.00	1,000.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		なし
成果		関係法令に基づき、主に以下の基幹統計調査について適切に事務を実施した。 ・令和6年全国家計構造調査（基本調査及び簡易調査） ・2025年農林業センサス（農林業経営体調査） ・令和7年国勢調査調査区設定
課題	業務	いずれの基幹統計調査も時代にそぐわない制度設計が残っており、調査客体から調査への協力を得ることが難しい。また、統計調査員に支払われる報酬額の水準が十分ではないことが、調査員候補者を確保する上での障壁となっている。
	組織、予算等	なし
改善目標		本事業の性質上、市区町村において課題を改善することは不可能であるため、各調査の終了後に実施される事務報告会等を通じて、茨城県及び基幹統計調査の実施主体である各省庁に対して改善要望を行う。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	953 大規模事業評価制度手続事務									
予算科目	01-020108-13 行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約						係名	行政経営係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市大規模事業の進め方に関する基本方針、つくば市大規模事業評価委員会条例、つくば市大規模事業を実施する際の評価に関する要綱					SDGs				

事業の概要

対象	市職員（附属機関委員を含む）									
目的	大規模事業を実施する際に、事業の着手の妥当性を検証し、市としての対応方針の決定に資するとともに、意思形成過程の透明化を図る。									
概要 （取組内容）	内部評価（職員）及び外部評価（有識者で構成する附属機関）による大規模事業評価を実施するとともに、その過程及び結果を公表する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	269	277	282	282	282
	決算額	(千円)	7	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	7	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,485	1,382	1,520	1,504	1,504
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	0.00	30.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	大規模事業評価実施件数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	大規模事業評価を実施した事業数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		事業所管部署から制度に関する問合せに対して職員向け運用マニュアルを用いて説明を行った。
成果		当該制度の庁内周知を行うとともに円滑な評価実施のため、案件照会による評価候補・予定案件の事前把握や相談対応等を行った。また、制度の適用除外とした6件について、「評価対象適用除外事業調書」を市HPに公表した。
課題	業務	案件数が少ないことから評価制度に係る事務の属人化が懸念される。
	組織、予算等	特になし
改善目標		適切な制度運営を行うため、定期的に全庁的な案件調査を実施する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	080 市民参加推進に関する事業											
予算科目	01-020108-13					行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課
市長公約	16										係名	行政経営係
戦略プラン	I-1	3	1	市政情報等の発信					新規・継続	継続		
	I-1	3	2	審議会等への公募市民委員の参加推進					事業分類	自治事務（任意）		
									事業体制	職員のみ		
個別計画	つくば市市民参加推進に関する指針										事業期間	毎年度
根拠法令等											SDGs	11住み続けられるまちづくりを
												17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民（市内に在住、在勤、在学している人を含む）、市職員
目的	市政運営の過程において、市民が市政に意見を反映させるための機会をつくる。
概要 （取組内容）	市民参加の実施予定及び結果の取りまとめ、公表 各課等で所管する附属機関及び懇談会等の市民委員選考状況の管理 無作為抽出による委員等候補者の登録管理 市民委員意見交換会及び市民委員アンケートの実施 庁内アンケートの実施

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	25	32	40	40	40	
	決算額	(千円)	15	10	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	15	10	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,166	2,873	2,467	2,885	2,885	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.30	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	330.00	120.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	市ホームページでの情報発信、市民委員意見交換会、市民委員アンケート
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	審議会等で自身の意見を言うことができた市民委員				(%)	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	86.6	82.0	83.4	82.0	84.9	82.0
	指標の概要	審議会等に参加した市民委員へのアンケートで、意見を「言うことができた」「どちらかということ言うことができた」と回答した人の割合					

2	指標名	市民委員を募集した附属機関及び懇談会等 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	指標の概要	市民委員の募集が可能な附属機関及び懇談会等のうち、実際に市民委員を募集した附属機関及び懇談会等の割合（個別施策Ⅰ-1-③市政への市民参加の推進 指標1）					
3	指標名	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	34.0	36.0	38.0	40.0
	実績	29.4	0.0	30.7	30.6	29.2	31.4
	指標の概要	市政に市民が参加できる環境が整っていると思う市民の割合（基本施策Ⅰ-1 市民と共に創るまちづくりを推進する 指標）					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		各課等が所管する事業において、市政への参加を希望する市民が参加しやすい環境を整えるとともに、多様な手法を取り入れ、市民が直接的に市政に参加する機会をつくることを推進した。
成果		附属機関及び懇談会等への市民募集管理や市ホームページの更新を実施し、市民参加の透明性を向上させた。また、委員等候補者名簿の登録依頼発送数を増加することで、登録同意者数を増加し委員等候補者名簿の活用ニーズの拡大に対応できる体制を整えた。
課題	業務	令和5年度開催した市民委員意見交換会で出た意見や令和4年度開催した行政経営懇談会の提言書等を踏まえ、広報紙等で市民委員制度についての周知を図りつつ取組を進める必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		過去の行政経営懇談会の提言や、市民委員意見交換会での意見を踏まえ、幅広い世代の市民の積極的な市政への参加を促進するための具体的な取組を検討する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	058 つくば市0B人材活動支援事業									
予算科目	01-020108-11 企画調整に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課			
市長公約							係名	企画調整係		
戦略プラン	Ⅱ-2	2	1	生涯にわたる学びの場の推進			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	-						事業期間	毎年度		
根拠法令等	-						SDGs	11住み続けられるまちづくりを		
								16平和と公正をすべての人に		
								17パートナーシップで目標を達成しよう		

事業の概要

対象	高度な知識や専門技術を持つシニア（概ね50歳以上）、市民									
目的	研究学園都市の特色である高度な知識や専門技術を持つシニア層の方々が、現役引退後もいきいきと活動できるよう支援する。									
概要 (取組内容)	・高度な知識や専門技術を持つシニアの方が自らの専門分野を登録し、講師派遣や助言等を希望する方に「つくば市シニア・エキスパート」として紹介する。 ・「つくば市シニア・エキスパート便覧」を作成・配布するとともに、ホームページや広報紙を活用して事業周知を図る。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	9	9	29	38	38	
	決算額	(千円)	9	11	26	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	9	11	26	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,411	1,479	1,545	2,097	2,097	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	40.00	40.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	登録者の活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	590.0	680.0	690.0	700.0	300.0	300.0
	実績	668.0	123.0	6.0	4.0	74.0	112.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備 指標2)					

2	指標名	新規登録者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	実績	10.0	4.0	4.0	2.0	8.0	6.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-2-②誰もがつながり役割を持てる社会参加の環境整備 指標2) ※令和5年度から設定(過年度分は実績値のみ記載)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		活用の促進に優先的に取り組むこととし、前年度と比べ便覧の配布先を増加させ周知先を拡大したとともに、過去に本事業を複数回利用した実績がある団体に周知を行い、利用実績をフォローアップした。
成果		周知先を拡大したことや、これまで活用したことがある利用者へ活用を促したことで、活動回数を前年度比で伸ばすことができた。
課題	業務	過去に一度マッチングしたシニア・エキスパートに利用者が直接連絡するなどで市が関与しない場合、活動回数を把握できていないケースがある。また、便覧は登録申請時の情報であるため、定期的に登録情報の整理が必要である。
	組織、予算等	事業の目的が異なるものの、類似した取組が他部署でもなされている。事業のあり方について整理する必要がある。
改善目標		利用希望者と確実にマッチングするよう登録情報を整理するとともに、今後の事業のあり方について検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	076 指定管理者制度手続事務																	
予算科目	01-020108-13					行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課						
市長公約													係名	行政経営係				
戦略プラン	Ⅱ-4	2	2	民間活力導入の推進							新規・継続	継続						
											事業分類	自治事務（任意）						
											事業体制	一部委託						
個別計画	指定管理者制度に関する基本方針										事業期間	毎年度						
根拠法令等	公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例										SDGs	11住み続けられるまちづくりを						
												17パートナーシップで目標を達成しよう						

事業の概要

対象	市民、事業者、市職員
目的	住民サービスの向上を図るとともに、施設運営経費等の効率的活用を図る。
概要 (取組内容)	各担当課に対し指定管理者導入事務に係る調整、支援に加え、新規導入施設を把握するため導入調査を実施するとともに、新規及び更新施設を対象として、指定管理者候補者選定検討会議を実施する。また、指定管理者による継続的・安定的な管理・運営を目指し、第三者評価を含めたモニタリングの実施を支援する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	699	2,430	2,706	3,187	3,187	
	決算額	(千円)	491	1,364	2,223	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	491	1,364	2,223	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,628	5,318	4,929	3,006	3,006	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.60	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	500.00	484.00	820.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	—
実行	市ホームページでの情報発信、第三者モニタリング時に利用者ヒアリング調査の実施
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	指定管理者選定件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	6.0	1.0	5.0	2.0	0.0
	実績	0.0	0.0	1.0	6.0	3.0	0.0
	指標の概要	指定管理の選定を行う指定管理施設数					

2	指標名	指定管理施設数 (施設)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.0	8.0	7.0	7.0	8.0	10.0
	指標の概要	市が導入している指定管理施設数（当該年度末時点）					
3	指標名	第三者モニタリング実施件数 (施設)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0
	指標の概要	市が導入している指定管理施設に対する第三者モニタリングの実施状況※指定期間内に1施設1回実施					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		新モニタリング制度の運用を開始するに伴い、担当課や指定管理者が円滑に運用できるように、注意を払いつつ、制度運用に関する事務が肥大化しないよう運用した。
成果		指定管理者制度を導入中の全8施設（令和5年度時点）について、令和5年度事業分の指定管理者実績評価（所管課評価）を行い、結果を市HPに公表した。また、評価（モニタリング）に係る様式・手順等の見直しを行い事務の効率化を図るとともに、3施設を対象に第三者評価機関によるモニタリングを実施し、専門家から指摘を受けた内容について、適切な運営に改善することができた。
課題	業務	新モニタリング制度の運用開始に伴い、書類作成方法について担当課および指定管理者からの質問が多くあった。よくある質問と回答については担当課に随時共有するなど、さらなる効率化の工夫が求められる。
	組織、予算等	特になし
改善目標		民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図るため、指定管理者制度の導入や評価に伴う事務手続きを明瞭化する適切な方法を検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	078 PPP/PFI優先的検討規程策定事務											
予算科目	01-020108-13					行政経営に要する経費					担当部課	政策イノベーション部企画経営課
市長公約											係名	行政経営係
戦略プラン	Ⅱ-4	2	2	民間活力導入の推進							新規・継続	継続
											事業分類	自治事務（任意）
											事業体制	職員のみ
個別計画	特になし										事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし										SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市職員
目的	公共施設等の整備・運用に際し、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、効率的かつ効果的な公共施設等の整備等を進める。
概要 (取組内容)	公共施設等の整備及び運営を計画するに当たり、従来型手法に優先してPPP/PFI手法を検討するためのルール作りを検討する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	2	2	2	2	2
	決算額	(千円)	0	14	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	14	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	681	815	1,918	691	691
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	51.00	190.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		内閣府主催のPPP/PFIに関するセミナーへ参加し、情報収集を実施した。
成果		公共施設マネジメント担当部署及び公共施設整備関連部署と連携を図り、規程の策定における課題等を整理するとともに、規定の検討を進めた。
課題	業務	国による規定のひな型や手引き等が示されているが、市の方針や関係規定（大規模事業評価制度）も踏まえた運用体制の構築やPPP/PFI制度、評価手法の知識取得をしつつ慎重に進める必要がある。
	組織、予算等	施設整備事業に関する知識とPPP/PFI事業に関するノウハウや人員が不足している。
改善目標		市の方針や関係規定（大規模事業評価制度）との整合性や策定による影響について検討する必要がある。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	